

対象校No.

注1

学校コード F133310109616

注2

変更年度 令和 4年度

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

注2

山陽学園大学 総合人間学部 言語文化学科 (必要がある場合) ○○専攻

認可

## 収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人山陽学園

令和7年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	IR推進室企画部
職名・氏名	キカクブチョウ シマダ タケシ 企画部長・嶋田 武
電話番号	086-901-0537（直通）
（夜間）	086-272-6254（代表）
e-mail	kikaku@sguc.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例) ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

# 目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	3
①総合人間学部言語文化学科	
2. 既設大学等の状況 . . . . .	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	6

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人山陽学園

## (2) 大学名

山陽学園大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒703-8501

岡山県岡山市中区平井一丁目14番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	変更時	変更状況	備考
理事長	(ワタナベ マサヒロ) 渡邊 雅浩 (平成23年5月)	(タニモト キンヤ) 谷本 欣也 (令和4年6月)	前理事長の辞任に伴い、新たに就任。 令和4年6月1日(5)
学長	(サイトウ イクコ) 齊藤 育子 (平成28年4月)	(モウリ タケシ) 毛利 猛 (令和7年4月)	前学長の辞任に伴い、新たに就任。 令和7年4月1日(7)
学部長	(タニイチ タカシ) 谷 一 尚 (平成29年4月)	<del>(モウリ タケシ)</del> (サクライ ヨシキ) 毛利 一 猛 櫻井 佳樹 <del>(令和6年4月)</del> (令和7年4月)	大学運営上の都合による変更 令和6年4月1日(6) 大学運営上の都合による変更 令和7年4月1日(7)
学科長等	(サトウ マサヨ) 佐藤 雅代 (令和3年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画						定員変更年度	学生募集の停止について	備考						
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員									
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前						変更後			
総合人間学部 言語文化学科 学士(人文学)	4年	40人	60人	2年次 0人	2年次 0人	3年次 5人	3年次 5人	170人	250人	令和4年度					
区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	(-)	(-)	(-)	(-)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)		0.63倍	一倍
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0)	(3)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳		
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0)	(3)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)			
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0)	(3)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)			
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0)	(3)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.71	0.61	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70			

- (注) 当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用) IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称		山陽学園大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
総合人間学部	4	90	3年次 10人	380	-	0.77	-	令和4	平成21	-	入学定員 令和3年度(10) 令和4年度(20)	
言語文化学科	4	60	3年次 5	250	学士(人文学)	0.63	-	令和4	平成21	岡山県岡山市 中区平井1-14-1		
ビジネス心理学科	4	30	3年次 5	130	学士(ビジネス心理学)	1.03	-	-	平成21	同上		
地域マネジメント学部	4	50	0	200	-	0.70	-	-	平成30	-		
地域マネジメント学科	4	50	0	200	学士(地域マネジメント学)	0.70	-	-	平成30	岡山県岡山市 中区平井1-14-1		
看護学部	4	78	3年次 4	320	-	0.90	-	-	平成21	-		
看護学科	4	78	3年次 4	320	学士(看護学)	0.90	-	-	平成21	岡山県岡山市 中区平井1-14-1		
大学全体	4	218	3年次 14	900	-	-	-	-	-	-		

### 3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時  (令和3年度)</p>	<p>地域マネジメント学部 地域マネジメント学科 の定員未充足の是正に 努めること</p>	<p>令和4年度に向けた学生募集では、志願者増ならびに定員充足を図るため、Web上の受験生向けサイトを新設したほか、全学的な高校訪問や新聞広告、テレビCMなどの広報活動を展開した。さらに、地域マネジメント学部独自では、次のような取組を行った。</p> <p>①新たな志願層の掘り起こし 普通科進学校、地域課題に取り組む高校に加え、商業・工業・農業系資格取得者に対する入学金減免制度（令和2年度創設）をPRし、実業高校への働きかけを強化した。</p> <p>②オープンキャンパス 学部の教育目的や内容を高校生に浸透させるため、ミニ講義や在学生の地域実践活動の報告など、学部独自のイベントも実施した。</p> <p>③「地域マネジメントコンテスト」の実施 地域に関心のある高校生へ積極的にアプローチするため、高校生を対象にした地域課題の探究の学習に関わるコンテストを実施し、6校11件の応募があった。</p> <p>令和4年度向けの入試結果は、次のとおりであった。 定員 50人 志願者数 67人 入学者数 40人 (4)</p> <p>これまでの取組に加え、令和4年度から、専門教育科目を「産業活性コース」と「社会貢献コース」の科目群から、将来就きたい職業など、一人ひとりの学修ニーズに基づいて選択して学べる、多様な履修モデルを提供できるよう、カリキュラム改訂を行い、アピールを行った。</p> <p>令和5年度向けの入試結果は、次のとおりであった。 定員 50人 志願者数 60人 入学者数 34人 (5)</p> <p>これまでの取組に加え、大学のブランドメッセージをコンセプトとしたテレビCMの作成、放送や、学科紹介動画の作成、ホームページへの掲載など、広報活動を強化した。</p> <p>また、新たに5月にオープンキャンパスを実施し、学生への働きかけを強めた。</p> <p>令和6年度向けの入試結果は、次のとおりであった。 定員 50人 志願者数 52人 入学者数 37人 (6)</p>	<p>地域マネジメント学部の新たなカリキュラム体系や地域マネジメント実習など学びの特色などについて、教職員を対象とした研修で共有化し、高校訪問やオープンキャンパスなどで、学部の強みを積極的にアピールする。</p> <p>併せて、初めての卒業生の就職状況（就職率100%等）、公務員試験対策講座（無料）の開講などについてもアピールし、入学者のさらなる増加を目指す。（4）</p> <p>これまでの取組に加え、令和5年度から、副専攻として観光分野を体系的に学べる観光専修課程を設けるカリキュラム改訂を行い、学部の魅力を積極的にアピールしていく。（5）</p> <p>これまでの取組に加え、学生目線での学科紹介チラシの作成、配布や学生有志によるSNS発信による学科の魅力発信などを積極的に行っていく。（6）</p>

		<p>これまでの取組に加え、「2025年度入試に向けた学生募集活動基本方針」を策定し、同方針に基づく取組を行った。また、オープンキャンパス参加者及び付添者アンケートを実施し、集計と分析を行い、学生募集活動に活用した。</p> <p>さらに、高校への探求学習、出張授業への講師の派遣など高大連携に積極的に取り組んだ。</p> <p>令和7年度向けの入試結果は、次のとおりであった。</p> <p>定員 50人 志願者数 51人 入学者数 32人 (7)</p>	<p>これまでの取組に加え、令和7年度からの「経営」「政策」の2コース制の導入に向け、カリキュラムの改編を検討しており、学科の学びのアップデートと魅力を積極的にアピールしていく。(7)</p>
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)	該当なし		